

A-9 あらさ

すり傷の生じやすさ

1. 性能項目の定義

すり傷の生じやすさとは、素足で歩いたり、床に肌を触れたり、転倒して床に身体部位を接触させた時の、すり傷の生じやすさのことである。

2. 評価の観点

評価の観点は、すり傷の生じやすさとする。

3. 適用範囲

床の用途：特に限定しない

床の材料、構法：特に限定しない

4. 性能評価方法

(1)測定方法

図-1に、“すべり試験機(O-Y・PSM)”の概要を示す。本試験機の機構や仕様、操作方法などについては、A-6その1を参照されたい。本試験器を用い、重錘の質量を40kgとし、すべり片にショアA硬度35、厚さ3mmの発泡ゴムを用い、さらに床表面にジョンソン・エンド・ジョンソン社製ベビーパウダーを $2g/m^2$ 散布した状態で、引張荷重の測定を行う。

図-2に、測定の結果得られる引張荷重・

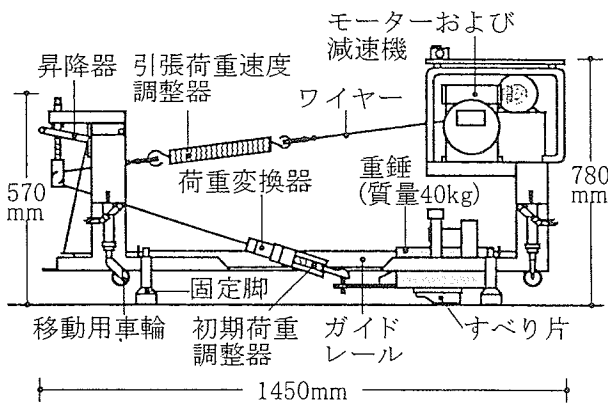


図-1 すべり試験機(O-Y・PSM)の概要(例)

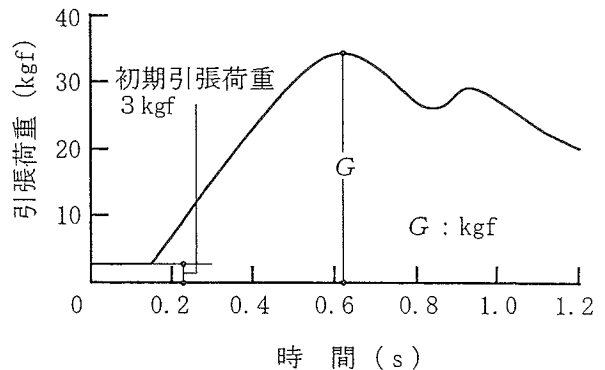
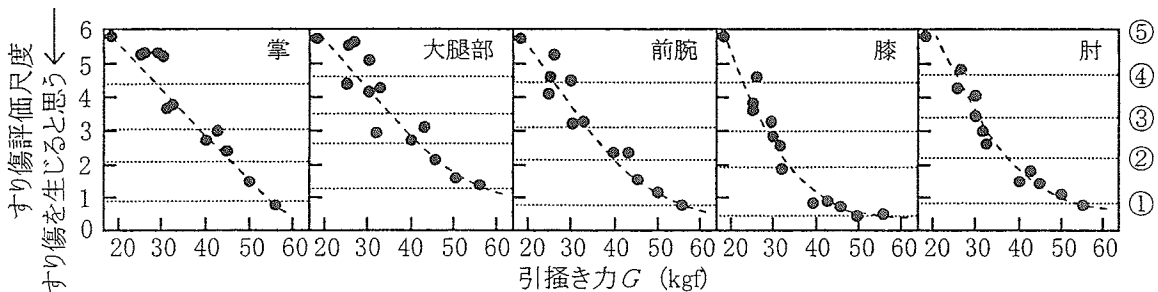


図-2 引張荷重・時間曲線の例



すり傷評価尺度	評価段階
5	全くすり傷を生じないと思う
4	微度のすり傷を生じると思う
3	軽度のすり傷を生じると思う
2	中度のすり傷を生じると思う
1	重度のすり傷を生じると思う

図-3 いたさの評価指標

時間曲線の例を示す。すり傷の生じやすさは、図に示す引張荷重の最大値 G で表示できる。

(2)評価指標

図-3に、すり傷の生じやすさの評価指標を示す。図は、官能検査手法を適用して構成したすり傷の生じやすさに関する心理学的尺度と、 G の関係を示すものである。

5. 参考文献

- 1)小野英哲, 三上貴正, 永田まゆみ: 身体接触時のすり傷の生じやすさおよび痛さの観点からみた床表面凹凸の評価方法に関する研究, 日本建築学会構造系論文報告集, 第392号, pp.10~16, 1988年10月

A-9 あらさ すり傷の生じやすさ

推奨値(案)

評価の観点：安全性(肌で触れたり転倒して接触した時などにすり傷などが発生しにくい)

床の種類	動作の種類	推奨値(案)	備考
すり傷の生じやすさに対する配慮が望まれる床	腰降し, 座位, 横臥回転など	$G = 294\text{N}$ 以下 (30kgf以下)	幼稚園, 保育園, 学校, 病院, 高齢者施設, 浴室, プールサイドなどの中で配慮が望まれる床